

IDROSALLY(イドロサリー)

[一覧に戻る](#)

冷間試験

ストーブが完全にOFFの状態では機能しません。

MENUボタン(M)を数秒間長押ししてください。

Menu Test I/Oという表示が出るまでマイナスボタンを押してください。

表示が出ましたらMボタンを1回押して下さい。Pass:00という表示がされます。

マイナスボタンを押してPass: -13と表示させて下さい。

プラス/マイナスボタンで各装置の試運転ができます。

電源ボタンを押してエスケープできます。

C1:ヒーター		ヒーターを作動させます。
C2:排気ファン	valore istantaneo	排気ファンを作動させます。最大で回転しますが40g/s以上であれば正常です。
C3:ペレット搬送スクリュウ	Cor. ... Err. C22	オーガモーターを作動させます。モーターへの電流を視覚化します。 Err. C11 = 低電流 Err. C22 = 正常 Err. C33 = 高電流
C4:ポンプ		ポンプを作動させます。
C5:排気温度センサー	valore istantaneo	現在の排気温度を読み取ります。
C6:温水温度センサー	valore istantaneo	現在の温水温度を読み取ります。
C7:給気流量センサー	valore istantaneo	給気センサーを作動させます。
C8:バキュームメーター		30秒間の圧力検査をします。数値が30以上150未満なければいけません。
C9:Auxポート		ポートに接続されていれば"ON Aux-Port"と表示されます。
C10:温風ファン		温風ファンを作動させます。
C11:リモコン受信度合		リモコンとストーブの受信度合を表示します。
C12:ポンプエア抜きモード		ポンプはエア抜きモードにて作動します。

パラメーター

Mボタン長押ししてください。

Set upと表示されるまで+または-ボタンを押してください。

Mボタンをおしてください。Pass:0と表示されます。

パスワード-13を入力するために-ボタンをおしてください。

Mボタンを押すとパラメーターに入ります。

ストーブがOFF状態であればReset Setup、ON状態であればLANG.ENGLISHが表示されます。

Mボタンを押してパラメーター表を順に降りていきます。戻るにはAボタンを押すと戻ります。

パラメーターの各数値を変更するには+ または -ボタンを押します。

電源ボタンを押してエスケープできます。

パラメーター	値	説明	単位	備考
Reset Setup		コード11を入力でパラメーター出荷時にリセット		
Verifica Valori		排気ファン回転数、差圧(Pa)、各種温度など表示	g/s+Pa+ ° C	✚ ボタンを押すことでアラームリスト表示
Verifica Valori		排気温度	° C	✚ ボタンを押すことでアラームリスト表示

Verifica Valori		給気流量	V	✦ ボタンを押すことでアラームリスト表示
T. BOARD		基盤温度	° C	✦ ボタンを押すことでアラームリスト表示
Pascal		差圧	Pa	✦ ボタンを押すことでアラームリスト表示
Corr. ... F _{max} 0.20		燃料搬送オーガモーター	//	
Matematiche Leonardo		レオナルドシステムにて計算されて数値を表示	//	NON PRENDERE IN CONSIDERAZIONE
ID scheda		出荷時コード	//	NON PRENDERE IN CONSIDERAZIONE
CONS.= STUEA=		ストーブ本体とリモコンの受信度合	//	
Air AC	33	排気ファン回転数(AC)	g/s	着火までに時間がかかり煙が多い場合は数値を最大で2上げてください。
Air AR	36	排気ファン回転数(AR)	g/s	燃焼ポットに多くのペレットが残っている場合は数値を最大で2上げてください。
Air PW	38	排気ファン回転数(PW)	g/s	
Air P1	30	排気ファン回転数(P1)	g/s	Pascal check OFF 炎の立ち上がりがなく、赤黒い色であれば数値を最大で4上げて下さい。 煙突が非常に高く燃焼ポット内のペレットが躍るようであれば数値を最大で4下げて下さい。
Air P2	32	排気ファン回転数(P2)	g/s	
Air P3	34	排気ファン回転数(P3)	g/s	
Air P4	37	排気ファン回転数(P4)	g/s	
Air P5	40	排気ファン回転数(P5)	g/s	
F.smoke OFF	OFF	消火モード後、排気ファン延長稼働時間	minuti	排気漏れを防ぐためにAir P1にて排気ファンを稼働
Air Flow AC	1.00	給気流量下限値(AC)	V	CHECK AIR FLOW のアラームが出続ける場合はこの数値を0.4まで下げて下さい。
Air Flow AR	1.20	給気流量下限値(AR)	V	
Air Flow P1	1.00	給気流量下限値(P1)	V	
Air Flow P2	1.10	給気流量下限値(P2)	V	
Air Flow P3	1.20	給気流量下限値(P3)	V	
Air Flow P4	1.30	給気流量下限値(P4)	V	
Air Flow P5	1.40	給気流量下限値(P5)	V	
Fan min.	10	設定可能温風ファン回転数(最少)	%	
Fan max.	100	設定可能温風ファン回転数(最大)	%	
Fan ° C min. (start fan)	90	温風ファン起動排気温度	° C	この温度に到達後温風ファンが設定されたレベルにて稼働
Fan ° C max.	300	最高排気温度	° C	
Air F1	30	温風ファンの強さ(P1)	%	
Air F2	45	温風ファン回転数(P2)	%	
Air F3	60	温風ファン回転数(P3)	%	
Air F4	75	温風ファン回転数(P4)	%	
Air F5	90	温風ファン回転数(P5)	%	
Pellet AC	30	ペレット供給量(AC)	%	
Pellet AR	40	ペレット供給量(AR)	%	
Pellet PW	50	ペレット供給量(PW)	%	
Pellet P1	27	ペレット供給量(P1)	%	25%と表記があればモーターが10秒周期毎2、5秒間稼働にすることを意味します
Pellet P2	39	ペレット供給量(P2)	%	
Pellet P3	52	ペレット供給量(P3)	%	
Pellet P4	64	ペレット供給量(P4)	%	
Pellet P5	76	ペレット供給量(P5)	%	
Pellet P1L	25	ペレット供給量下限値(P1)	%	
Pellet P2L	34	ペレット供給量下限値(P2)	%	
Pellet P3L	47	ペレット供給量下限値(P3)	%	
Pellet P4L	59	ペレット供給量下限値(P4)	%	
Pellet P5L	70	ペレット供給量下限値(P5)	%	
Pellet P1H	30	ペレット供給量上限値(P1)	%	

Pellet P2H	44	ペレット供給量上限値(P2)	%	
Pellet P3H	58	ペレット供給量上限値(P3)	%	
Pellet P4H	70	ペレット供給量上限値(P4)	%	
Pellet P5H	80	ペレット供給量上限値(P5)	%	
Temp Test 1	110	目標排気温度(P1)	° C	
Temp Test 2	130	目標排気温度(P2)	° C	
Temp Test 3	160	目標排気温度(P3)	° C	
Temp Test 4	165	目標排気温度(P4)	° C	
Temp Test 5	190	目標排気温度(P5)	° C	
Auto reg	On	Auto reg のON/OFF	//	
Time Reg.	60	Auto reg 補正時間間隔	secondi	
Air 1 Low	30	排気ファン回転数下限値(P1)	g/s	NON VARIARE
Air 2 Low	32	排気ファン回転数下限値(P2)	g/s	
Air 3 Low	34	排気ファン回転数下限値(P3)	g/s	
Air 4 Low	36	排気ファン回転数下限値(P4)	g/s	
Air 5 Low	38	排気ファン回転数下限値(P5)	g/s	
Air 1 High	33	排気ファン回転数上限値(P1)	g/s	
Air 2 High	35	排気ファン回転数上限値(P2)	g/s	
Air 3 High	37	排気ファン回転数上限値(P3)	g/s	
Air 4 High	39	排気ファン回転数上限値(P4)	g/s	
Air 5 High	42	排気ファン回転数上限値(P5)	g/s	
Pascal P1	35	圧力値下限値(P1)	pascal	
Pascal P2	43	圧力値下限値(P2)	pascal	
Pascal P3	53	圧力値下限値(P3)	pascal	
Pascal P4	63	圧力値下限値(P4)	pascal	
Pascal P5	75	圧力値下限値(P5)	pascal	
Pascal auto	ON	Pascal auto の ON/OFF		
PASCAL CLOCK	20	20秒ごとに圧力の確認を行います。	secondi	
AC min_Pa	50	点火時における圧力値の下限値	Pa	NON VARIARE
AC max_Pa	150	点火時における圧力値の上限値	Pa	NON VARIARE
Timer	ON/OFF	OFF時にはAC/STOPホールド、ファン/ARホールドすべてのプログラムを無効にします。	//	
Delta S.	15	ACとARの段階に移行するための温度差	° C	
T.Start	70	運転段階(P1~5)に切り替わる排気温度	° C	スタートボタンを押してから15分以内にこの排気温度に達しない場合アラームが発生します。 Block-FI/No Start
T.Stop	65	消火したとみなす排気温度	° C	blocco STOP FIAMMA
T.max E.	300	最高排気温度	° C	この温度を超えるとストーブは強制的に消火状態になります。
Temp. SC.	280	熱交換部のクリーニングが必要になる排気温度	° C	
Serv.CAT	2500	販売店の介入を必要とするペレット消費量	Kg	
Serv.UTE	800	販売店の介入を必要とするペレット消費量	Kg	
Pellet Kg CAT		ユーザーにクリーニングを促すペレットの消費量	Kg	"Code CLR"にて31入力でリセット
Pellet Kg UTE		「CAT」のペレット消費量のカウンタ	Kg	Aボタンを5秒長押しでリセット
Start AC N.°		「UTE」のペレット消費量のカウンタ	cicli	
Time Go P1		着火回数	h	
Time Go P2		稼働時間(P1)	h	
Time Go P3		稼働時間(P2)	h	
Time Go P4		稼働時間(P3)	h	

Time Go P5		稼働時間(P3)	h	
Code CLR Time		運転状況メモリーをコード31を入力してリセット	//	
1 Wash Timer	20	クリーニング間隔(P1)	minuti	Service CAT 表示時の解除方法 ストープは消火作業に移行しませんが、メッセージを表示します。 これは、使用ペレット量がパラメータSERVICE CAT (es.2500KG) より も高い場合に発生します。シーズンオフのメンテナンスを行い、+ -ボタンでコード31を入力しMボタンを押してキロカウンターをリ セットしてください。
1 Wash Time	15	クリーニング時間(P1)	secondi	
2 Wash Timer	20	クリーニング間隔(P2)	minuti	
2 Wash Time	20	クリーニング時間(P2)	secondi	
3 Wash Timer	20	クリーニング間隔(P3)	minuti	
3 Wash Time	25	クリーニング時間(P3)	secondi	
4 Wash Timer	20	クリーニング間隔(P4)	minuti	
4 Wash Time	30	クリーニング時間(P4)	secondi	
5 Wash Timer	15	クリーニング間隔(P5)	minuti	
5 Wash Time	40	クリーニング時間(P5)	secondi	
ADJ TC	0	排気温度センサーの更生	° C	点火失敗の問題を出さないために+ 30 まで上げることが出来ます。 もしこのパラメーターが0ならディスプレイに表示される温度が実際の排気温度で ずす。 このパラメーターを変更することで実際の排気温度より より高く、またはより低く 制御盤に読ませる目的があります。
ADJ TM	0	水温センサーの更生	° C	部屋により精密な温度計があるとすれば、その温度計にストーブの室温度表示 が一致するように変更が可能です。
ADJ PASG.	0	圧力値の更生	Pa	
ADJ FLOW	0	給気センサーの更生	V	NON VARIARE
ADJ TCON	0	リモコンの室温センサーの更生	° C	部屋により精密な温度計があるとすれば、その温度計にストーブの室温度表示 が一致するように変更が可能です。
Load Pell	90	初期ペレット投入時間	secondi	
AC Final Wash	60	消火時、排気ファンが最大で回転する時間	secondi	
RISERVA	ON	ペレットリザーブON/OFF	//	
Time Fan OFF	15	最短消火時間	minuti	
Delta P2	2	火力切替温度差 (P1→P2)	° C	
Delta P3	2	火力切替温度差 (P2→P3)	° C	
Delta P4	2	火力切替温度差 (P3→P4)	° C	
Delta P5	2	火力切替温度差 (P4→P5)	° C	
STOP ECO T.	OFF	STOP ECOのON/OFF	//	
TIME OUT ECO	30	STOP ECOの機能作動の遅延時間	Secondi	
START PUMP	40	ポンプ作動排気温度	° C	
STOP PUMP	38	ポンプ停止排気温度	° C	
PUMP SET	sp	ポンプ停止モード： STOP PUMPの設定より延長してポンプを作動させることが できます。 1～30分の設定をすることができます。	minuti	
Anti-BOILING-FREQUENCY	1	START PUMPの温度以下でもポンプを作動させる時間周期	minuti	
Anti-BOILING-TIME	10	Anti-BOILING-TIME持続時間	secondi	
TM>TB	10	ポンプを活性化する最少Δ温度	° C	
T. MAX H2O	90	最高水温	° C	
CO. CLIMA DELTA	2	Confort Clima再着火温度差	° C	
Confort Clima	OFF	Confort Clima ON/OFF	//	

CODICE L	15	リモコンの周波数(L)		
CODICE H	14	リモコンの周波数(H)		
BLACKOUT	DELAY	Gestione Black OUT: -ready = immediato -delay = c/analisi g/" estrattore fumi -Stop & ° C = dipendente dalla temperatura termocoppia.	//	
WARMUP TIME	5	ウォーム アップ段階を終了する時間	minuti	
TIME UP POWER	30	火力増加時の遅延時間	secondi	火力の急激な変化を防ぎます。
TIME DW POWER	30	火力減少時の遅延時間	secondi	
TEMP.CONS.	ON	リモコンの温度センサーのON/OFF	//	
BUZZER CONS.	OFF	リモコンアラーム音のON/OFF	//	ON: リモコンに温度情報を受信するたびにピープ音がします。
TIME CHECK	OFF	TEMP CONS.ON: 設定時間内にリモコンの温度センサーから受信されない場合に自動的に火力P1に切り替える。	Minuti	
BUZZER	30	アラーム音の設定:ON =アラーム音有効、OFF=アラーム音無効、SOFT = ピープ音	//	
RADIO res.	ON	リモコンの自動リセットのON/OFF	//	
Corrente min.	30	燃料搬送オーガモーター電流下限値	Enumerico	ALR. LOW CURRENTが発生するようであれば数値を下げてください。
Corrente max.	200	燃料搬送オーガモーター電流上限値	Enumerico	ALR. HIGH CURRENTが発生するようであれば数値を上げてください。
Eventi cor.	30	電流イベント数制限値	N°	30→OFFまで設定可能
Brake time	13	燃料搬送オーガブレーキ値	Enumerico	
Quake Time		この時間以上の揺れを感じた場合にEarthquake alarmが発生	secondi	耐震のアラームが発生した場合、通常の消化段階を継続し、消火します